

# 第2期大分県スポーツ推進計画（チャレンジ！おおいたスポーツプラン2020）素案の概要

## 第1編 総論

### ◆ 策定の趣旨

①

#### ■ 第1期大分県スポーツ推進計画の計画期間終了に伴う新たな計画

- 第1期計画の成果・課題やスポーツを取り巻く情勢の変化に対応
  - ・ スポーツに関する施策の総合的な推進を任務とするスポーツ庁設置
  - ・ スポーツ界における不祥事案の発生を受けたガバナンスコードの策定
  - ・ ラグビーワールドカップ2019を契機とした「みる」「ささえる」スポーツの一層の浸透
  - ・ 各市町村における国際大会事前キャンプの誘致等を通じた地域活性化の取組の進展
  - ・ 県の責務、関係団体等の役割を示した「大分県スポーツ推進条例」の制定
  - ・ 武道をはじめとする屋内スポーツの拠点となる県立武道スポーツセンターの竣工
- 「大分県長期総合計画」、「大分県長期教育計画」を反映

### ◆ 本計画におけるスポーツの範囲

③

ルールに基づいて勝敗や記録を競うものだけでなく、

- 健康づくりのためのウォーキング
- 気分転換のための軽い運動
- 自然に親しむアウトドアスポーツ
- レクリエーションや介護予防のためのトレーニング
- 学校で行われる体育や運動部活動

多様な身体活動や社会参加の機会と、それらに付随する「する」「みる」「ささえる」等の多様な取組についても本計画の範囲とする。

今後、県民のニーズや全国的な情勢の変化に応じて、計画の期間内であってもその範囲について柔軟に検討する。

## 基本理念

⑤

### 「県民総参加 スポーツ力を高め 明るく元気な大分の創造」

県民の誰もが、それぞれのライフステージに応じて、スポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を味わいながら、健康で活力ある生活を営むことができる

☞ 第1期計画におけるスポーツ推進の成果を引き継ぎ、さらなる高みを目指す

☞ 「大分県長期総合計画」、「大分県長期教育計画」に基づく4つの基本目標の下、第2編の施策を計画的・総合的に推進

### ◆ 計画の性格・役割等

②

- 「大分県長期総合計画」、「大分県長期教育計画」のスポーツ部門の実施計画
- スポーツ基本法第10条に基づく「地方スポーツ推進計画」
- 大分県スポーツ推進条例第7条に基づく「推進計画」
- 計画の期間
  - 令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度） [10年間]
  - ※ 中間年となる令和7年度（2025年度）を目途に中間見直しを実施

### ◆ スポーツの力

④

#### ■ 内在的な力

人間の本源的欲求に応え、爽快感、達成感、充実感、楽しさや喜びをもたらす、スポーツが本来持っている力。（年齢、性別等を問わず、誰にも同じように享受されるもの）

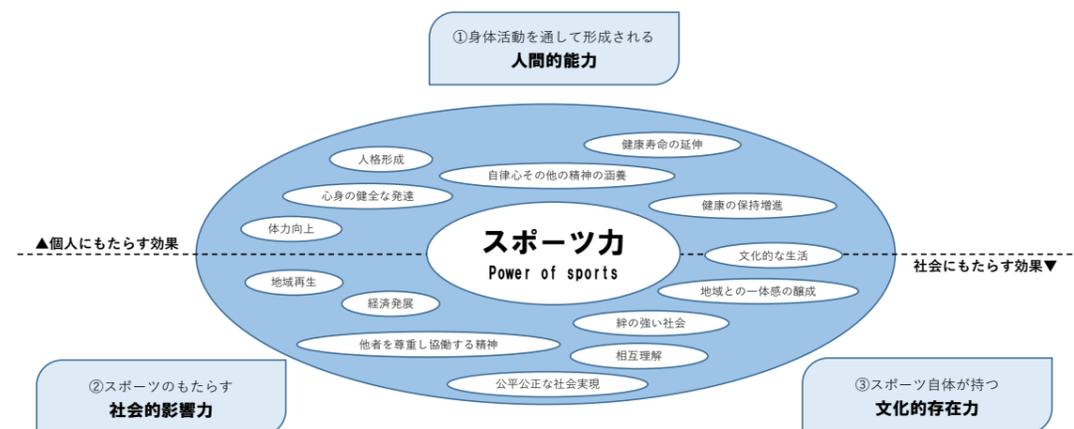
#### ■ 外在的な力

体力の向上や健康の保持増進による生涯活躍社会の実現、スポーツイベントの開催を通じた地域の活性化等のスポーツを推進することが社会に与える力。

スポーツの持つ多様な力が最大限発揮されるよう「内在的な力」と「外在的な力」の双方に着目し、総合的に施策を推進する。

### スポーツ力を構成する3つの要素

⑥



施策（主な内容）

### 基本目標Ⅰ 生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成

#### 1 ライフステージに応じたスポーツの推進

(1) 幼児期・少年期におけるスポーツの推進

- ③ **運動部活動の充実** ⇒ 「大分県の運動部活動の在り方に関する方針」に基づく持続可能な運動部活動スタイルの確立をはじめとする取組を設定  
【具体内容】 ○地域移行型部活動の推進 ○拠点型部活動の推進 ○学校体育団体と連携した大会参加資格の見直し など
- ④ スポーツ少年団等における指導環境の充実 ⇒ 医科学の知見を活用した発達段階に応じた指導の充実、体罰根絶・ハラスメント防止の取組の推進
- ⑤ スポーツに関わりの少ない子どもへの働きかけの推進 ⇒ 発達段階に応じた基礎的な運動の獲得、運動の楽しさを実感できる取組を設定

(2) 青年・壮年期におけるスポーツの推進

- ③ これまでスポーツに関心がなかった人への働きかけの推進 ⇒ 働く世代がスポーツに親しむ多様な機会の提供と情報発信に関する取組を設定

(3) 高齢期におけるスポーツの推進

- ③ これまでスポーツに関心がなかった人への働きかけの推進 ⇒ 高齢者がスポーツに親しむ多様な機会の提供と情報発信に関する取組を設定

(4) ライフステージに応じたスポーツイベントの推進

- 各ステージにおけるスポーツイベントの充実 ⇒ 「みる」スポーツ、障がいのある人とない人がともに楽しめる、ICTの活用の観点で取組を設定

#### 2 誰もが気軽に取り組めるスポーツの推進

(1) 障がい者スポーツの推進

- ① 障がい者のスポーツ機会の拡充・②スポーツ環境の整備 ⇒ 特別支援学校を拠点とした身近な地域におけるスポーツ活動の推進に関する取組を設定

(2) **女性のスポーツ活動の推進** ⇒ 実施率の低さや、児童・生徒の運動に対する二極化が顕著な女性のスポーツ活動の推進に関する施策を新たに設定

【具体内容】 ○ ライフステージに応じて「する」「みる」「ささえる」スポーツに取り組める環境整備 など

#### 3 総合型地域スポーツクラブの育成・支援・活用

(1) **総合型地域スポーツクラブの推進** ⇒ 「登録・認証制度」の導入を見据え、総合型クラブの質的充実や制度への対応に向けた取組を設定

【具体内容】 ○中間支援組織による質的充実 ○市町村等との連携したクラブの創設と活動エリアの拡大、  
○クラブの自立と「登録・認証制度」への対応支援 など

## 基本目標Ⅱ 県民のスポーツを支える環境づくりの推進

### 1 「みる」「ささえる」スポーツの充実

(1) 「みる」「ささえる」スポーツの推進

② **子どもたちへの「みる」「ささえる」スポーツ機会の提供** ⇒ 「みる」「ささえる」スポーツの定着に向けた児童・生徒を対象とした取組を設定

③ 大会を支える審判員等の専門スタッフの育成 ⇒ 競技の普及・振興を図る上で重要な役割を担う専門スタッフの育成の取組を設定

(2) スポーツボランティア活動の推進

③ スポーツボランティアの活用 ⇒ 団体等で既に管理されているボランティア情報を一元的管理する組織構築に向けた取組を設定

### 2 スポーツ活動の場の充実

(1) 地域の特性を活かした活動の場の充実

③ **天然・自然環境を活用したスポーツプログラムの開発とその情報提供** ⇒ **総合型クラブと連携した地域資源を活用したプログラムの開発の取組を設定**

(2) 学校スポーツ施設の充実と有効活用

② 学校体育施設開放事業の促進 ⇒ 県立学校の週休日や長期休業を活用した開放校・開放施設の拡大の取組を設定

(3) スポーツ施設の整備・充実と支援体制の整備

① **県立スポーツ施設の維持・整備** ⇒ **県内全域におけるスポーツ施設の有効活用に向けた施設の必要数や市町村との役割分担の検討の取組を設定**

### 3 スポーツを支える組織や活動の場の充実

(1) スポーツ情報の収集と提供

① スポーツ情報システムの構築 ⇒ スポーツ情報の一元化や発信方法等のシステム構築に向けた調査・研究の取組を設定

(2) 行政組織の連携とスポーツ関係団体の充実

② スポーツ関係団体のガバナンス向上の取組の推進 ⇒ 「スポーツ団体ガバナンスコード」を踏まえ、ガバナンス向上に必要な取組に関する項目を設定

③ スポーツ関係団体の整備・充実 ⇒ 競技や指導する対象を選ばず、すべての指導者が活用できるコーチングプログラムの開発の取組を設定

④ **スポーツ団体と連携した安心・安全なスポーツ体制の確保** ⇒ **コロナ禍におけるスポーツ状況を踏まえ、関係団体と連携した持続可能なスポーツ環境の確保に関する取組を設定**

【具体内容】 ○感染予防対策を徹底した大会開催の推進

○ICTを活用した新しいスポーツ環境づくりの推進 など

(3) 企業におけるスポーツ活動の推進

① スポーツ推進に向けた企業との連携・協力 ⇒ 働く世代が負担を感じず生活の中にスポーツを取り込むための企業との連携・協力等についての取組を設定

(4) スポーツに関する顕彰制度の充実

① 顕彰制度の充実 ⇒ スポーツボランティアや障がい者スポーツの推進等の多様な活動での貢献に対する制度検討の取組を設定

### 基本目標Ⅲ 世界に羽ばたく選手の育成

- (1) 競技力向上のための組織の整備・充実
  - ① 競技団体や学校体育団体等の活性化 ⇒ ガバナンス向上を通じた組織体制の充実・強化に向けた取組を設定
  - ② 年代や競技の枠を超えた連携体制の整備 ⇒ 大分県競技力向上スーパーコーチ等を活用した次代を担う指導者の異競技間交流の促進の取組を設定
- (2) 競技力向上に向けた指導体制の充実・強化
  - ① 公認指導者資格の取得を通じた指導者の育成と資質の向上 ⇒ 世界で活躍できる選手の育成に向けた指導者の資質向上の取組を設定
  - ③ **競技者から指導者への好循環サイクルの構築 ⇒ 優秀選手が引退後、指導者として活躍できるサイクルの構築に向けた取組を設定**  
【具体内容】 ○優秀な人材が県内で指導者として活躍できる就職支援 など
- (3) 競技力向上に向けた発掘・育成・強化の推進
  - ② **関係団体と連携した一貫指導体制の構築 ⇒ 競技特性や発達段階に応じた、長期的な視点に基づいた一貫指導体制の構築に向けた取組を設定**  
【具体内容】 ○競技団体の好事例を他競技で展開 ○強化活動へのICTの活用の普及 など
  - ③ **関係団体と連携した強化事業の充実 ⇒ 中央競技団体と連携した競技者育成プログラム等を活用した効果的な選手育成の推進の取組を設定**
- (4) 競技力向上に必要な諸条件の整備
  - ③ 広報活動の推進 ⇒ 競技力向上に対する取組を広く県民に周知し、競技者への応援機運を醸成する取組を設定

### 基本目標Ⅳ スポーツによる地域の元気づくり

- (1) 国際スポーツ大会等の誘致
  - ① 大分スポーツ公園総合競技場を活用した国際スポーツ大会等の誘致 ⇒ 総合競技場や武道スポーツセンターを活用した大会誘致の取組を設定
  - ③ キャンプ受入国との継続的な交流の推進 ⇒ ラグビーワールドカップ2019で試合を行った国や、東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ受け入れ国等との継続的な交流の推進に関する取組を設定
- (2) スポーツ文化の定着とスポーツツーリズムの推進
  - **施策横断的な考え方 ⇒ 大会・合宿等で県内を訪れた選手と県民の積極的な交流機会の創出を通じたスポーツへの関心拡大等を推進**
  - ② まちづくりや地域活性化の核となるスタジアムの実現 ⇒ スポーツ公園総合競技場の魅力度向上に向けた利便性向上対策の実施や交通渋滞対策の検討の取組を設定
- (3) ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承
  - ① **ラグビー文化の定着 ⇒ 大会を一過性のものとせず、県内に文化として定着させる取組を設定**  
【具体内容】 ○小学校でのタグラグビー授業の実施や中学校での拠点型ラグビー部の創設によるラグビー人口の拡大 など
  - ③ 世界トップクラスの国際試合等の誘致 ⇒ 世界・国内トップクラスの試合誘致の取組を設定

#### 計画の県民への周知・計画の進行管理

- ウェブサイトや広報誌への掲載を含む様々な機会を活用した情報発信
- 毎年、本計画の施策ごとに、進捗状況や課題等を整理
- 有識者による計画の進捗状況に関する審議（大分県スポーツ推進審議会）
- 翌年度以降の計画の効果的な推進に向け、取組等に反映

#### スポーツを通じた県政の総合的な推進を目指して

- スポーツの持つ「外在的な力」を活用した県政全般の政策課題解決に向けた取組の推進
- 県長期総合計画における政策目標とスポーツ推進計画の施策関連性を整理
- 今後、関係機関との連携を密にし、施策の効果的な推進を図る

